

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/8/2 ～2022/10/4)

1. 勉学の状況

<夏休み期間>

8月4日から約3週間、夏休み期間にスウェーデン語の集中コースを受講しました。留学生全体的にはヨーロッパ出身の学生が多く、その学生たちの言語と比べて日本語とスウェーデン語は発音など全てが異なるので、かなり難しかったです。先生がとても優しく、周りの学生も助けてくれたため楽しくコースを終えることができました。

このコースに参加したおかげで、本格的に授業が始まる前に少し英語に慣れることができたため、その点でもおすすめます。

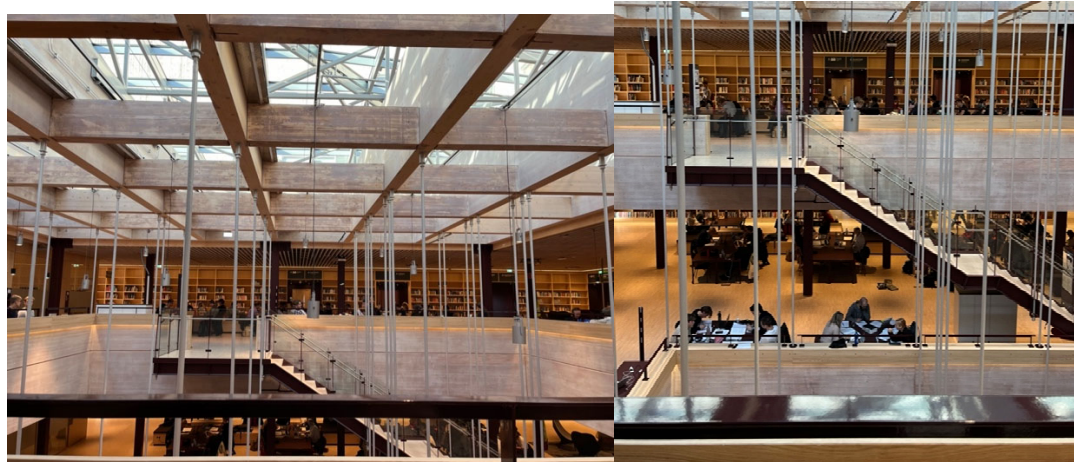
<秋学期>

どの授業を取るかにもよりますが、私は8月23日から、秋学期が始まりました。

授業には、Full time と Half time の2つのタイプの授業があります。Full time のコースは、週に2回ほど授業があり、基本的に1ヶ月ほどで授業が終わります。Half time のコースは、週に1回授業があり、学期中授業が続きます。1学期にとれる授業数と、履修できる Full time のコース数に制限があるので、自分で計算しながら履修を組みました。

日本と時間割のシステムが異なっていて、授業のスケジュールは基本的に授業開始の2週間前くらいにならないとわからないので、履修を組むときは、授業が Full time なのか Half time なのか、Day time なのか Evening なのかで判断しました。

9月は授業がない日も多く、自由時間が多いと感じましたが、10月に入るとテストもあり、課題も増えて毎日勉強しなくてはなりません。学校の図書館が広く、素敵で快適なので、図書館に行って勉強することも多いです。



また、Nordic Culture というスウェーデンの文化について学べる授業では、9月の末に2泊3日の旅行に行きました。リンショーピンの近くの美術館や歴史的な場所、また自然を感じられる場所に行きました。

森の中の洞窟を探検したり、グループでスウェーデンに昔から伝わる神話のようなお話についての劇をつくったり、カヌーをしたりと、自分ではなかなかできない体験ができた3日間でした。もう1つ、11月に旅行があり、首都のストックホルムに行くのでその旅行も楽しみです。



2. 生活の状況

生活面では、コリドーという8人でキッチンシェアする寮のようなところに住んでいて、基本的に留学生はみんな、コリドーに住んでいます。コリドーの建物はいくつかのエリアに分かれて、まとめられているので、友達もみんな近くに住んでいてとても過ごしやすいです。

部屋は一人部屋なため、トイレとシャワーがそれぞれの部屋についていて快適です。キッチンのみ共用なので、一緒に住んでいる人によってはキッチンがすごく汚れていることもあります。ですが、そのようなときはお互いに声を掛け合いながら、共同生活の醍醐味を味わっています。コリドーには現地のスウェーデン人の学生も住んでいます。私は今、スウェーデン人4人、スペイン人1人、ドイツ人1人と共同生活をしています。ダイニングルームのような場所もあるので、自分ご飯を食べていると他の人も来て、一緒に食事ができたりするので交流がしやすい環境です。スウェーデンに来てから、人種差別を感じたことはなく、スウェーデン人の学生でも色々なルーツを持った人たちが多いため、多様性を感じることができます。治安も良く、大きな街ではないですが自然が多く、そういった点でも過ごしやすい国・街だと思います。

また、友達のコリドーに集まって一緒にご飯を作ることも多く、人との交流はとても取りやすい環境だと思います。外食が高く基本的に自炊なので、それぞれご飯を持ち寄ってパーティーをすることもあり、色々な国の料理を食べることができます。



また、スウェーデンに来て一番驚いたのは、トイレがジェンダーレスなことです。スウェーデン人の子に聞くと、全部ではないといっていました。学校やショッピングセンターのトイレが、基本男女共用で、ジェンダー平等がとても進んでいると感じました。

また、誰でも参加できる LGBTQ の人のための Pride Parade が街で開催され、私も参加しました。



スウェーデンでは様々な場所で順番に、毎年開催されているらしく、みんなそれぞれにカラフルなものを身につけながら街を歩きました。ジェンダー平等の進んでいるスウェーデンを感じることでできた体験でした。

言語面では、スウェーデン人の方は基本的に、お店の店員さんもみんな英語を流暢に話すことができます。スーパーマーケット等でも英語で質問できるため、心配ありません。

留学生もみんな英語が流暢なため、まだ聞き取ることでも精一杯なことも多いです。会話についていけず、悔しい時もありますが、周りの英語のレベルが高い分、ヨーロッパの国の中で英語を身につけたい人にはぴったりの場所だと思います。

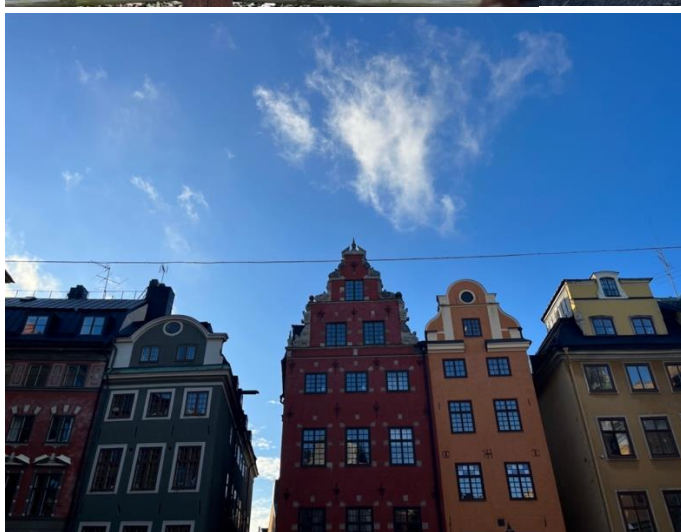
海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/10/5 ～2023/2/3)

1. 勉学の状況

Nordic Culture

9月にも授業の一環で旅行がありましたが、11月にも3日間の旅行があり、隣の市の Norrköping と首都の Stockholm に行ってきました。美術館や景色の良い場所を訪れたり、公園と動物園が合体したような Skansen という場所にも行き、そこでは北欧らしいトナカイやムースを見ることができました。



また、旅行以外でもスケートの授業があったりなど、スウェーデンや北欧の文化を実際に体験しながら学べた授業でした。とても楽しく、普通に生活するだけよりもスウェーデンのことを知る機会となるため、この授業はおすすめです。



他の授業では、スウェーデン語の授業、カルチュラルスタディーズ、宗教とテロリズムについての授業を受講していました。

記憶に最も残っているのはカルチュラルスタディーズの Oral test です。この授業のテストは、口頭でのグループテストで、日本でなかなか経験したことのないスタイルだったので、準備にかなり時間をかけましたが、良い英語の勉強にもなりました。

2. 生活の状況

・オーバーオール

リンショーピン大学の伝統で、オーバーオールを汚す Overall inauguration というイベントがあり、参加しました。屋外にいくつかのゲームブースが設けられていて、小麦粉やケチャップ、マスタードをかけあったり、泥の上でゲームをしたりなど、本当に新しい経験でした。かなり汚れましたが、新鮮で、この大学ならではの経験ができました。

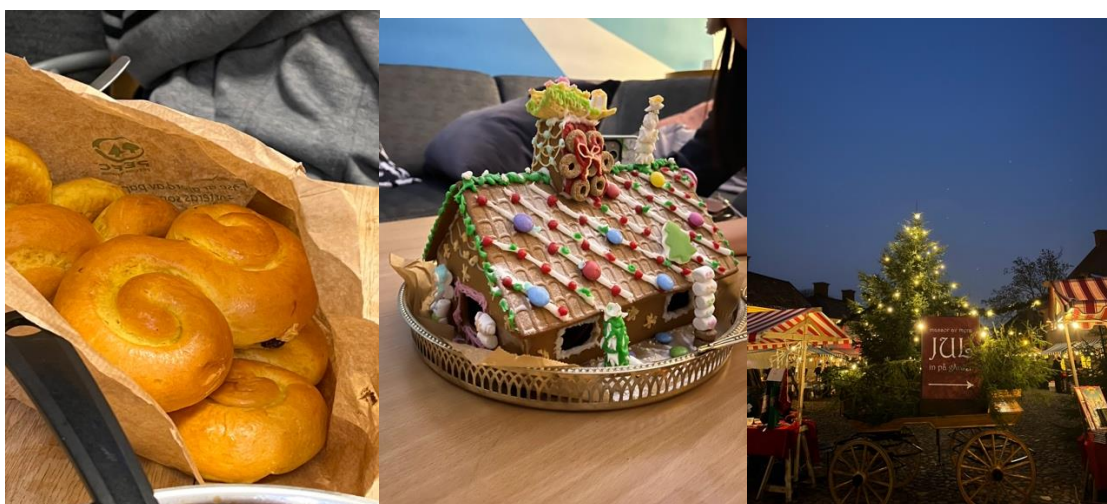


・クリスマス

クリスマスには、スウェーデン人の友達の実家にお邪魔させてもらい、クリスマスディナーを振る舞ってもらいました。部屋の飾り付けも本当に素敵で、ヨーロッパのクリスマスを存分に味わうことができました。

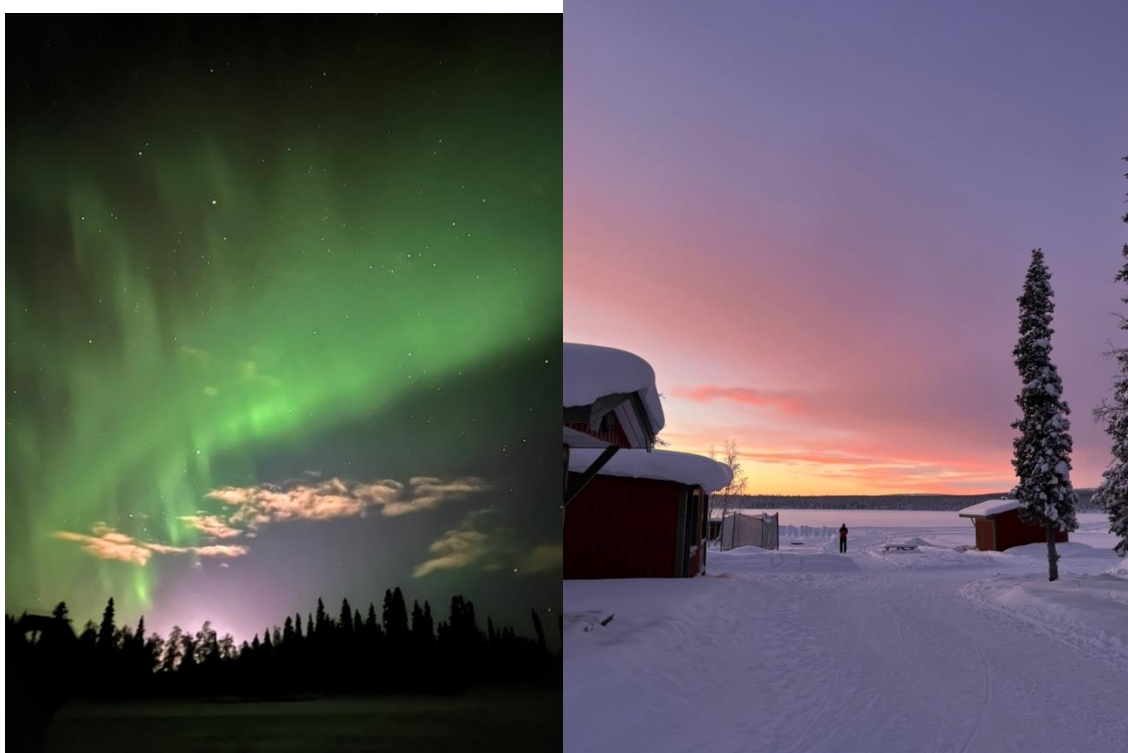


他にもルッセカットというクリスマスシーズンに食べられているパンを食べたり、クリスマスマーケットを訪れたり、クッキーハウスを作ったりなど、本格的なクリスマスを楽しむことができました。



・ラップランド

1月の後半に、スウェーデンの北にある Kiruna という場所に行ってきました。北欧の北の地域のまたがっているラップランドというエリアにある場所で、オーロラを見に行ってきました。オーロラが見られるかどうかは、本当に天気と運次第だそうなので、心配していたのですが、ラッキーなことに二日間も見ることができました。



朝日や夕日も本当に綺麗で、犬ぞりやスノーモバイルバイク体験、アイスホテルも訪れることができ、本当に良い思い出になりました。

私は友達とツアーを利用しましたが、大学の留学生向けにイベント等を開催してくれるサークルのような団体が、ラップランドツアーも行っているので、そこから申し込んでいく留学生の友達もたくさんいました。

振り返ってみると、スウェーデンの文化をたくさん体験できた4ヶ月間でした。もう、1年間の留学のうち半分が終わってしまい、時間があっという間に過ぎていっているなあと感じます。

12月頃は9時くらいから明るくなり、15時30分頃にもう暗くなり始めていたのですが、1月の中旬頃からはだんだん日の出ている時間が長くなってきています。

これから、春や夏のスウェーデンも楽しみです。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/2/4 ～2023/6/25)

1. 勉学の状況

Race, Ethnicity and Migration in Culture and the Arts

留学前から、留学中に学びたいと思っていた途上国に関する授業で、さらに人種や民族、難民について映画などの文化的産物の視点から考えるという内容で自分の興味にピッタリだったため、大学院生向けの授業でしたが、何度かお願いをして受講させてもらうことができました。

院生向けであったため、レベルも他の授業よりは高く、他の学生から学ぶことも多かったと思います。内容としては、テーマに関する映画等を視聴したり、その映画からテーマについて学んだり、関係する理論を学んだりなどでした。また、ストックホルムに日帰りでフィールドワークもありました。

1ヶ月の短期間の授業であったため、週に2.3回ほど授業があり、授業がない日も課題のリーディングに取り組まなければならなかったため忙しい1ヶ月でしたが、その分学びも多く、留学の中で最も受講してよかったと思える授業となりました。

全ての場合に言えるわけではないですが、このような例もあるのでもし取りたい授業が院生向けであっても、ひとまず聞いてみるのもありだと思います。

Philosophy and Film

この授業も短期間で、哲学について映画から学ぶ授業でした。

毎授業の前に自分で映画を視聴し、授業でクラスメートとディスカッションをするという内容で、ディスカッションの際に色々な考え方を聞くことができ、とても興味深い授業でした。

Sweden and the Swedes

長期間の春学期中ずっと続いた授業で、スウェーデンについて学ぶ授業でした。文化よりは、スウェーデンの社会について学ぶことのできる授業であったため、近年のスウェーデンの制度等について学びたい方におすすめです。

2. 生活の状況

3月頃からさらに日が伸びてきたように感じました。しかし4月でも雪が降ったりなど寒い日もありましたが、どんどんと春も感じられる日も増え、4月後半や5月からは暖かくなりました。暖かくなると、外に出てる人も増え、芝生で日光浴やピクニックをしたりなど太陽の光を存分に楽しむ機会が増え、また冬が長く暗いからこそ、太陽のありがたみを感じることができ、良い経験でした。



スウェーデンならではの体験としては、アイスホッケーの試合を、リンショーピンで観戦する事ができました。



そして、6月の後半に行われたミッドサマーというお祭りにも、ストックホルムで参加してきました。簡単なダンスを踊って、伝統的な行事を体験することができました。

夏のスウェーデンは本当に綺麗で、夜 11 時頃でも写真の明るさでした。



暖くなるまで長かったです、もし留学に行かれる方にはぜひ夏のスウェーデンも体験してほしいなと感じました。